



～ 特別支援学校への訪問コンサート、子どもたちへのレッスンを実施 ～
「カルテット AT 水戸 第3回演奏会」関連企画 ご取材のお願い

水戸室内管弦楽団のメンバーで、カナダのオタワ・ナショナル・アーツセンター管弦楽団のコンサートマスターでもある川崎洋介を中心に、国内外で活躍する西野ゆか、柳瀬省太、辻本玲が集い、2023年に活動を開始した水戸芸術館・専属楽団「カルテット AT 水戸」。年に1度の演奏会だけでなく、福祉施設等へのアウトリーチや地元の子どもたちへのレッスンなど、地域に根差した交流を通して様々な人々に音楽の愉しみを伝える活動も行っています。

今回は、7月19日(土)に開催する第3回演奏会にあわせて、7月17日(木)に茨城県立水戸飯富特別支援学校での訪問コンサート、19日(土)の終演後には水戸ジュニアオーケストラへのレッスンをを行います。

つきましては、ぜひ、貴媒体にてご取材、ご紹介くださいますようお願い申し上げます。

「カルテット AT 水戸 第3回演奏会」関連企画

● 訪問コンサート

日時：2025年7月17日(木)10:00～10:30

訪問先：茨城県立水戸飯富特別支援学校

鑑賞者：中等部・高等部170名程度、教員30名程度

※茨城県立こども病院でも演奏予定ですが、こども病院での取材はお受け出来兼ねます。こども病院でもコンサートを行った事を記事にご記載いただくとは可能ですが、ご取材は飯富特別支援学校のみのお受けとさせていただきます。

● 水戸ジュニアオーケストラへのレッスン

日時：2025年7月19日(土) 17:00～18:30

会場：水戸芸術館コンサートホールATM



左から、西野ゆか（ヴァイオリン）、辻本玲（チェロ）、柳瀬省太（ヴィオラ）、川崎洋介（ヴァイオリン）

カルテット AT 水戸 第3回演奏会 <好評発売中>

日時：2025年7月19日(土) 14:00開演 会場：水戸芸術館コンサートホールATM

料金：全席指定／一般 4,500円、U-25（25歳以下）1,500円

曲目：ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第7番 ヘ長調 作品59の1〈ラズモフスキー 第1番〉ほか

主催：公益財団法人水戸市芸術振興財団

ご取材お申込み書
FAX：029-227-8111

お申込み締切
7/15(火)17時まで

御社名

御芳名

(人数 名)

TEL.

撮影の有無 有（スチール／ムービー）・無

ご取材希望（ご希望されるものに✓をご記入ください）

☐ 7月17日10時～10時30分 飯富支援特別学校訪問コンサート

☐ 7月19日17時～18時30分 ジュニアオーケストラレッスン

お問い合わせ：☎029-227-8111 広報係：君島、福島

カルテット AT 水戸 メンバープロフィール



川崎洋介 / ヴァイオリン

6歳から父・川崎雅夫に手ほどきを受けヴァイオリンを始める。10歳でジュリアード音楽院予科に入学を認められ、D.ディレイ、H.カン、F.ガリミア、J.スミルノフに師事、1998年にジュリアード音楽院卒業。アラバマ州モンゴメリー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団のコンサートマスターを歴任し、水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラのメンバーとしても活躍。小澤征爾、ピンカス・ズッカーマン、ヨーヨー・マ等とも共演し、カーネギーホール、サントリーホール、ロイヤル・コンセルトヘボウなど世界有数のホールに出演している。「トリオ・インク」のメンバー、アフィニス夏の音楽祭の音楽監督、ブルガリアの室内楽音楽祭「オフ・ザ・ビートウン・パス」のアーティストティック・アドヴァイザーなど室内楽での活動も目覚ましい。現在カナダのオタワ・ナショナル・アーツ・センター管弦楽団のコンサートマスター、及びNHK交響楽団のゲスト・コンサートマスターを務める。



西野ゆか / ヴァイオリン

桐朋学園大学音楽学部を経て、同大学研究科修了。大学在学中にクアルテット・エクセルシオを結成する。第2回大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門第2位、第5回パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクール（イタリア）において最高位、併せてサルバトーレ・シャリーノ特別賞など受賞。また第19回新日鐵音楽賞『フレッシュアーティスト賞』、第16回ホテルオークラ音楽賞を弦楽四重奏団として初めて受賞する。2010年10月より16年の6月までの6年間サントリーホールの『室内楽アカデミー』で、コーチング・ファカルティを勤める。2017年4月より浦安音楽ホールのレジデンシャル・アーティスト、2023年5月には秋川キララホールのアンバサダーに就任。クアルテット・エクセルシオ第1ヴァイオリン奏者。



柳瀬省太 / ヴィオラ

東京藝術大学音楽学卒業後、桐朋学園ソリスト・ディプロマコースに学ぶ。第52回ジュネーヴ国際音楽コンクールディプロマ賞。第1回淡路島しづかホールヴィオラコンクール第1位。第1回松方ホール音楽賞、大阪文化祭受賞。2002年、文化庁芸術家在外派遣研修生としてイタリア・パドヴァに留学。マリオ・ブルネオ主宰のオーケストラ・ダルキ・イタリアーナで活動。2004年ドイツに渡り、シュトゥットガルト州立歌劇場管弦楽団に入団。2009年帰国、神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席ヴィオラ奏者を経て、2014年より読売日本交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者。サイトウ・キネン・オーケストラのメンバー。松本、宮崎、北九州など音楽祭の参加、ベートーヴェンの弦楽四重奏曲全曲演奏、室内楽シリーズ、ストリングクアルテットARCOのメンバーを務めるなど、室内楽奏者として活躍している。



辻本玲 / チェロ

東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業。その後シベリウス・アカデミー、ベルン芸術大学に留学。第72回日本音楽コンクール第2位（「聴衆賞」受賞）。2009年ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第3位入賞（日本人最高位）。2013年齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。2019年CD『オブリヴィオン』をリリース（「レコード芸術」誌特選盤）。サイトウ・キネン・オーケストラ、東京・春・音楽祭に参加するほか、チェロ四重奏団「クアルテット・エクスプローチェ」など室内楽でも活動。NHK交響楽団首席チェロ奏者を務める。使用楽器はNPO法人イエロー・エンジェルより1730年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを、弓は匿名のコレクターよりTourteを、特別に貸与されている。